



基調講演

「グローバル化のなかのボルネオ
—自然環境と生活様式はどう変化してきたか—」

祖田 亮次

専門／地理学 所属・職名／大阪公立大学大学院文学研究科・教授
主要著作／祖田亮次(2024)「小人口世界における生業変化と人口動態—ボルネオ北西部の事例—」脇村孝平編『近現代熱帯アジアの経済発展—人口・環境・資源』ミネルヴァ書房, 61-83, Soda, Ryoji(2007), People on the Move: Rural-Urban Interactions in Sarawak, Kyoto University Press and Trans Pacific Press.

パネルディスカッション

「ツバメの巣産業はいかにしてボルネオに浸透したのか
—サラワクと西カリマンタンの生産現場から—」

佐久間 香子

専門／文化人類学 所属・職名／東北学院大学地域総合学部・准教授
主要著作／佐久間香子(2020)『ボルネオ 森と人の関係誌』春風社。

「金融から農業を考える—西カリマンタンの信用組合を事例に—」

上原 健太郎

専門／金融経済論 所属・職名／松本大学総合経営学部・専任講師
主要著作／上原健太郎(2022)「マレーシアの金融包摂に対するイスラーム型動産担保貸付の貢献—調査票調査の分析から」『マレーシア研究』11, 56-73.

「空から見た『西ボルネオ』の土地利用」

渡辺 一生

専門／東南アジア地域研究 所属・職名／京都大学東南アジア地域研究研究所・連携准教授
主要著作／渡辺一生(2020)「ドローンでケアする地域のめぐみ」『計測と制御』59(7), 481-486。

〈モデレーター〉

林田 秀樹

専門／東南アジア経済論 所属・職名／同志社大学人文科学研究所・教授
主要著作／林田秀樹編著(2021)『アブラヤシ農園問題の研究Ⅰ【グローバル編】』、『アブラヤシ農園問題の研究Ⅱ【ローカル編】』晃洋書房。

変わりゆく熱帯の自然と

住民たちの生業

—日本人が視たボルネオのこれまでとこれから—

2025

10.25_土

13:30～17:00 (開場13:00)

同志社大学
今出川校地
良心館 RY107教室

参加無料／事前申込不要

※合理的配慮が必要な方は、10/3(金)までにご希望の内容をお知らせください。ご要望内容を検討のうえ、できる限りの対応をさせていただきます。

主催・お問合せ



同志社大学
人文科学研究所

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL 075-251-3940
E-mail ji-jimbn@mail.doshisha.ac.jp

共催

科学研究費助成事業・国際共同研究加速基金
(国際共同研究強化(B))

「西ボルネオの土地利用変化：空撮と聞き取りによる実態と要因のクロスボーダー比較分析」(研究課題/領域番号：22KK0012、研究代表者：林田秀樹)